

6 市場事業

(1) 事業数

平成29年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は52万8,616tで、前年度に比べ67t(0.01%)減少している。その内訳は、青果物が17万2,120t、水産物が33万3,810t、食肉・鶏卵・その他が2万2,686tとなっている。前年度に比べ水産物が9,779t(3.0%)、食肉・鶏卵・その他が389t(1.7%)それぞれ増加し、青果物が1万235t(5.6%)減少している。

年間売上高は2,177億53百万円で、前年度に比べ5億14百万円(0.2%)増加している。その内訳は、青果物が448億10百万円、水産物が1,415億8百万円、食肉・鶏卵・その他が314億35百万円で、前年度に比べ水産物が41億92百万円(3.1%)増加し、青果物が35億8百万円(7.3%)、食肉・鶏卵・その他が1億70百万円(0.5%)それぞれ減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者149社、売買参加人が1,502人、関連事業者が41人となっている。

第1表 利用状況の推移

年 度		25		26		27		28		29		対前年度比較	
		25	構成比 (%)	26	構成比 (%)	27	構成比 (%)	28	構成比 (%)	29	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目												c	×100(%)
												a	b
取 扱 高 (t)	青 果 物	214,392	45.6	207,998	36.2	191,610	34.2	182,355	34.5	172,120	32.6	▲10,235	▲5.6
	水 産 物	233,649	49.7	344,731	60.0	346,984	61.9	324,031	61.3	333,810	63.1	9,779	3.0
	食肉・鶏卵・その他	22,502	4.8	21,852	3.8	21,710	3.9	22,297	4.2	22,686	4.3	389	1.7
	計	470,543	100.0	574,581	100.0	560,304	100.0	528,683	100.0	528,616	100.0	▲67	0.0
売 上 高 (百万円)	青 果 物	49,521	26.3	49,038	23.2	48,618	22.1	48,318	22.2	44,810	20.6	▲3,508	▲7.3
	水 産 物	111,617	59.3	131,861	62.5	139,893	63.5	137,316	63.2	141,508	65.0	4,192	3.1
	食肉・鶏卵・その他	27,178	14.4	30,079	14.3	31,945	14.5	31,605	14.5	31,435	14.4	▲170	▲0.5
	計	188,316	100.0	210,978	100.0	220,456	100.0	217,239	100.0	217,753	100.0	514	0.2
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	15	—	15	—	15	—	15	—	15	—	0	0.0
	仲 卸 業 者 (社)	46	—	45	—	45	—	150	—	149	—	▲1	▲0.7
	売 買 参 加 人 (人)	1,645	—	1,623	—	1,532	—	1,537	—	1,502	—	▲35	▲2.3
	関 連 事 業 者 (人)	47	—	40	—	41	—	40	—	41	—	1	2.5

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は29億54百万円で、前年度に比べ1億42百万円(5.1%)増加しており、総費用は24億9百万円で、前年度に比べ1億35百万円(5.9%)増加している。この結果、収支差引では5億45百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が8百万円(1.5%)増加している。

また、資本的収支における収入は19億53百万円で、前年度に比べ9億69百万円(98.5%)増加しており、支出は24億95百万円で、前年度に比べ9億43百万円(60.8%)増加している。この結果、収支差引では5億42百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が26百万円(4.5%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は3百万円の黒字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は10百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が1百万円(7.7%)増加している。

なお、収益的収支比率は85.9%で、前年度に比べ0.1ポイント増加している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	25	26	27	28	29	対前年度比較	
								a	b
収 益 的 収 支	総 収 益 A	2,523	2,779	2,950	2,811	2,954	142	5.1	
	営 業 収 益	1,686	1,713	1,743	1,827	1,870	43	2.3	
	う ち								
	料 金 収 入	1,672	1,700	1,732	1,815	1,848	33	1.8	
	受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—	
	ち 所 の 他	13	13	11	12	22	10	79.7	
	営 業 外 収 益	837	1,066	1,206	984	1,084	100	10.1	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	300	643	636	459	647	188	40.9	
	総 費 用 B	1,895	2,122	2,323	2,274	2,409	135	5.9	
	営 業 費 用	1,639	1,763	2,031	2,045	2,148	103	5.0	
う ち 職 員 給 与 費	352	350	357	362	376	13	3.7		
営 業 外 費 用	257	360	292	229	261	32	13.8		
う ち 支 払 利 息	241	227	228	203	180	▲23	▲11.6		
収 支 差 引 (A-B) C	627	656	627	537	545	8	1.5		
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入 D	3,380	3,454	2,005	984	1,953	969	98.5	
	地 方 債	1,759	2,871	752	492	1,251	759	154.4	
	他 会 計 繰 入 金	471	455	465	489	511	22	4.4	
	工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	—	
	国 ・ 県 補 助 金	1,151	128	787	0	190	190	皆増	
	そ の 他	0	0	0	2	0	▲2	皆減	
	資 本 的 支 出 E	4,198	2,268	4,456	1,552	2,495	943	60.8	
	建 設 改 良 費	3,208	1,246	3,484	538	1,452	914	170.0	
	地 方 債 償 還 金 e	979	1,020	957	1,001	1,030	29	2.9	
	そ の 他	11	3	14	13	13	0	2.5	
収 支 差 引 (D-E) F	▲818	1,186	▲2,451	▲568	▲542	26	▲4.5		
収 支 再 差 引 (C+F) G	▲191	1,842	▲1,825	▲31	3	34	—		
積 立 金 H	0	0	0	0	2	2	皆増		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	215	24	1,865	41	10	▲31	▲76.1		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	24	1,866	41	10	10	0	4.7		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	15	1,861	34	0	0	0	▲70.9		
実 質 収 支 (K-L)	8	4	7	9	10	1	7.7		
う ち									
黒 字	8	4	7	9	10	1	7.7		
赤 字	0	0	0	0	0	0	—		
職 員 数	47	46	47	47	50	3	6.4		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	87.8	88.4	89.9	85.8	85.9	0.1	—		